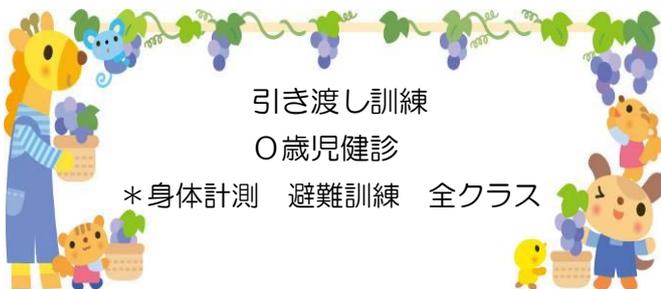




令和6年9月2日  
目黒区立南保育園園長

今年の夏もとても暑かったのですが、早い時間からプールや水遊びを始めたので、中止になることも少なく、夏の活動を各クラス工夫して行えたのではないかと思います。早めの登園にご協力いただきましてありがとうございました。最近はややく心地よい風が吹き始め、まだまだ暑いですが、夏の終わりが近づいていることを感じるようになってきました。

子どもたちは運動会を楽しみに取り組み始めています。5歳児クラスになったらと憧れていた竹馬にかっこよく乗れるようになりたいと日々がんばっています。「園長先生、バンドエイド貼って」と竹馬練習をがんばってできた足の指のあいだのまめを見せに、痛み半分誇らしげ半分でやってきます。「いっぱいがんばっている証拠だね」と声をかけると清々しい笑顔が返ってきます。一方で、まったくやっていない子がいたので視線を送ると、「2歩しか進めないから嫌なんだよ」としょんぼりしているように見えました。「2歩進めるようになったの、見たいな」と声をかけてみましたが、気分は上がりません。きっと自分の中でいろいろな感情がぶつかっているところなのかなと思うので、待ってみようと思います。保育園で一番大きいかっこいい5歳児クラスを小さいクラスの子もたちは憧れながら見て、自分たちも同じような気持ちになって張りきっています。夏の疲れも出てくる頃なので、体調に気を付けながら今月も元気に過ごしたいと思います。



つぶやき 2歳  
電車の絵本を見ていた時、  
子ども 「これなあに」  
保育士 「のぞみだよ」  
子ども 「〇〇ちゃん、これのったことある」  
保育士 「新幹線でどこ行ったの」  
子ども 「んーとね、おかいもの」



### 『初めてのプール』3歳児 でんでんむし組

2歳児の時に見ていた3階にある憧れのプールに入れることを聞くと、「でんでんむし組はおにいさん、おねえさんだからプールに入れるんだよね」と期待を持ちながらプール遊びが始まりました。

プールに入水する時には毎回必ず「きゃー」と水の冷たさに声が上がります。最初は腰までつかるとも勇気がいるのですが、一人では難しくてみんなが輪になって手をつなぎ、「せーの」で一緒にやると座ることができ、笑顔で顔を見合っています。顔に水しぶきがかかることが嫌な子もいましたが、プールの中を歩いたり、フープをくぐったり、アクリルビーズやボール等の沈む玩具で「宝探し」をしたりし、楽しみながら水に慣れていきました。今では、アヒル歩きやワニ泳ぎなど自分のできることを「みててね」「できるよ」と嬉しそうに見せてくれるようになりました。この夏のプール遊びを通して「ちょっと怖いけどやってみたらできた」と、また1つ自信につながったように思います。





今月は、乳児クラスの水遊びをご紹介します。



## 0歳児 ありんこ組

いつも遊んでいて慣れているテラスに、水の入ったたらいが並んでいると不思議そうに見えています。保育士がジョウロで上から水を流して見せると、興味津々でたらいのそばにやってきます。ゆっくりと手を水のほうへ伸ばし、水に触れると保育士を見てにっこり笑っています。「お水、気持ちいいね」とたらいの水面をたたいて見せると、子どもたちも真似してパシャパシャと優しくたたきます。たたいているうちに水しぶきが顔にかかると、一瞬目をつぶりながらも笑顔を見せています。そのうちにだんだんとダイナミックになり、どんどん力強くたたくことで、バシャンバシャンと水しぶきが跳ねることや水の音の変化があることを楽しんでいました。たらいの水の中に積極的に手を入れたり、洗面器に入っている水をこぼしたりしながら水の感触を手や足で感じている子どもたちです。これからも水だけではなく片栗粉やスポンジなどいろいろな感触に触れられるようにしながら、子どもが感じたことに共感していきます。

## 1歳児 てんとうむし組

初めは手や全身を使って水の感触を楽しんできた子どもたちの最近のお気に入りにはジョウロです。初めてジョウロを触る子は「これなにか」と不思議そうに保育士にもってきます。保育士が水を流して見せると同じように真似てジョウロを傾けようとしませんが、丁度良い角度にならず水を出すのに苦戦し、ひっくり返して水を入れる大きな穴から水を出す姿もありました。繰り返し保育士や友達がやる姿を見て上手に扱えるようになり、今では楽しそうに「じゃー」と言いながら水を撒いています。また、タライの中にジョウロを沈めると、泡立つことに気づき「ぶくぶくだ」「あわあわだね」と友達や保育士に教えてくれる姿もあります。これからも一人ひとりの気づきに共感したり、やってみたいことがとことんできるように寄り添っていきます。



## 2歳児 みつばち組

色水を用意すると、「あかいろだね」「こっちはきいろだよ」などと言いながら、カップやひしゃくですくっています。色水を入れたカップを並べると「いらっしやいませ」「どれにしますか」とジュース屋さんが始まりました。「これはいちごジュース。これはぶどうだよ」など、色とりどりの水を様々な味のジュースに見立てて楽しんでいます。遊んでいるうちに、赤と黄の色水をカップに入れてみたところ「あ、おれんじになったよ」と発見しました。また、色のついたカップに色水を入れたところ「こっちはむらさきになった」「これは、ピンクだよ」など色の変化や違いに気づき、驚きの表情を見せていました。

これからも遊びを通して、子どもたちが小さな発見や驚きが体験できるような活動を計画しながら、その面白さに共感していき探求心に繋げていきたいと思えます。

